

# 6校

お答えいただいたのは…



なかむら外科内科クリニック  
院長 中村泉先生

福島県立医科大学准教授を経て平成28年5月より「なかむら外科内科クリニック」院長。福島県立医科大学特任教授。医学博士。日本外科学会専門医、日本消化器外科学会専門医、日本大腸肛門病学会専門医、日本消化管学会胃腸専門医、日本乳癌(がん)学会乳腺専門医、検診映マンモグラフィー・超音波読影資格、日本甲状腺学会・日本内分泌外科学会所属。

## 女性のおしりと日帰り手術

痔は年齢・性別を問わず起こる病気ですが、痔のタイプには男女で少し違いが、痔の患者の半数以上を占めるのが、血液のうつ滞が原因で起る「痔核」(いぼ痔)で、男女で差はありません。おしりの感染症である「痔瘻(ろう)」(あな痔)は男性に多く、おしりのケガである「裂肛」(きれ痔)は女性に多く見られ、特に20代~40代の女性に好

発します。女性は便秘、妊娠・出産によりおしりに負担がかかりやすいので、肛門の狭窄(きょうそく)は、分泌された黃体ホルモンが体に水分や塩分をため込むように働き、大腸の壁から便の水分が吸収されて便秘になります。無理なダイエットによって便秘を引き起こす場合も、痔瘻は手術が必要ですが、痔核と裂肛の多くは内服・軟こうにて

## 痔のタイプは男女で違いが状態を正しく把握し日帰り手術も可能に

少。この「ジオン注射」は中国で承認されている「消痔靈」の添加剤の一部を変更した製剤で、痔核への血流を遮断し、速やかに止血効果を發揮して痔核を縮小させ、日帰り手術との相性は良好。

また、周囲に炎症を起

して痔核を癒着・固定され脱出を防止。その他慢性的裂肛や肛門狭窄、瘻管の走行が単純な痔瘻も日帰りで手術が可能です。

痔瘻は手術が必要ですが、痔核と裂肛の

院で行っていた手術ですが、最近では日帰りも増えています。術後の痛みと出血のコントロールがポイントで、局所麻酔などで肛門周囲を鎮痛し、手術後数時間経過を観察します。

従来の痔核手術では、力所程度の傷ができますが、痔核を硬化縮小させる注射療法(ALT A療法)と併用すること、傷の数や大きさが減ります。

年齢や生活環境も考慮して行わなければなりません。経験が必要な分野ですので、大腸肛門病専門医に相談してください。

## 記事下